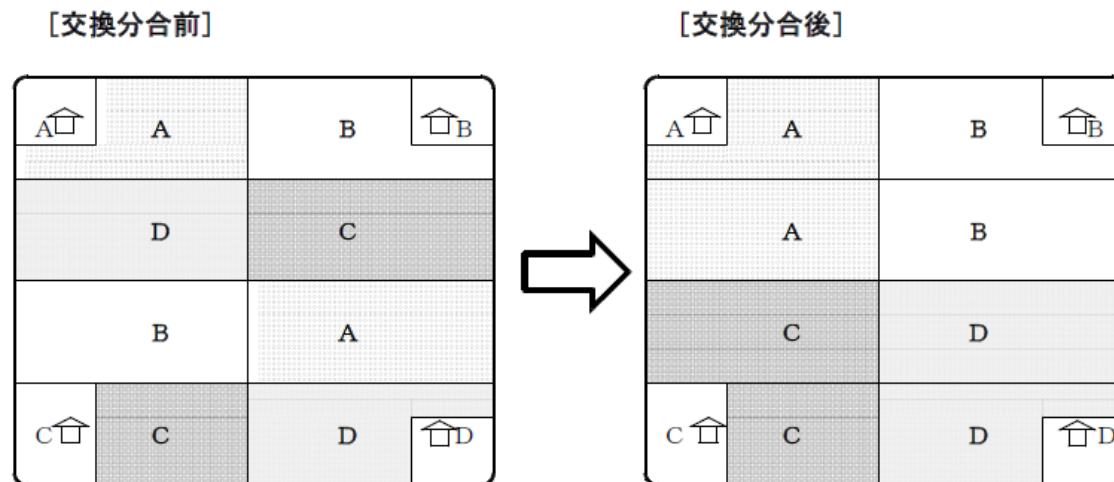


# 交換分合

## ○ 交換分合とは

細分・分散している農用地を、区画、形状、地番を変更することなく、地域ぐるみの交換によって広く使いやすい農用地にまとめる（集団化する）土地改良事業である。

## ○ 交換分合のイメージ



## ○ 交換分合の効果

- A. 少額の投資で農用地の集団化を実現
- B. 登記手続の簡素化
- C. 税制特例に適用
- D. 国等による助成制度
- E. (株)日本政策金融公庫の各種資金制度の活用

## ○ 交換分合の実績

- ・ 土地改良法制定以降の交換分合面積の合計は、約211万haである。
- ・ 昭和30年代前半までは集団化手法の中心でありましたが、以降は面工事を伴う区画整理等による換地処分が中心となり、交換分合は北海道で偏在して行われている状況である。

